

郡上市ブックスタート事業実施要綱

この要綱は、ブックスタート事業を円滑に行うことを目的とし作成する。

赤ちゃんのことばと心を育むためには、暖かなぬくもりの中でやさしく語り合う時間が大切であり、また赤ちゃんと向き合うそうしたひとときは、周りの大人にとっても心安らぐ楽しい子育ての時間にもなるものである。肌のぬくもりを感じながら、ことばと心を通わす、そのかけがえのないひとときを「絵本」を介して持つことを応援する運動が、このブックスタート事業である。

1. 事業目的

郡上市においても子どもたちの活字離れが進んでいる。また不登校、ひきこもりといった問題も深刻化してきている。物があふれ子育てがむづかしい今こそ、予防に勝る治療なしということで本事業を実施することにより、親子の心の通い合いを図ると共に0歳からの読書習慣を子どもの周囲にいる大人たちに意識付けたい。

2. 事業の実施主体

事業の実施主体は郡上市とする。

3. 対象者

郡上市に住所を有する生後3、4ヶ月の乳児及びその保護者を対象とする。

4. 実施場所

郡上市の3、4ヶ月健診が行われる会場において実施することを原則とする。

5. 実施体制

図書館・保健センターの連携の下、郡上市ブックスタートワーキンググループを発足させ、定期的に会議をもち連絡調整を行い、事業を推進すること。また、事務局は郡上市図書館におくものとする。特定非営利活動法人ブックスタートとの情報交換や連絡調整については、事務局が中心となって行うものとする。

6. 実施の内容

- (1) 3、4ヶ月時健診の機会に、すべての赤ちゃんと保護者に「赤ちゃん絵本を開く時間の大切さ、楽しさ」また「地域が子育てを応援している」といったメッセージを伝えながら、ブックスタート・バックを手渡すこと。
- (2) 3、4ヶ月健診時にブックスタートバックを手渡すことができなかった対象者に対しても、ブックスタート・バックを手渡すよう努めること。
- (3) ワーキンググループの連携の中でそれぞれの分野を活かしながら、事業の目的を達成するためのフォローアップを図り、講習会やおはなし会などを適宜行い、子どもの成長に合わせて保護者との楽しい本の時間を過ごすための環境づくりや、地域に見守られて安心して子育てができる環境づくりを考えること。

7. ブックスタート・バックの内容

絵本2冊、イラスト・アドバイス集、コットン・バック、よだれかけ、絵本リスト、図書館利用登録申込書など

8. その他

この事業に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則 この要綱は、平成16年4月1日から施行する。